

図面変更指示書

山梨大学(医病)中央診療棟放射線撮影室建具改修工事

令和4年11月21日

No	図面番号	変更前	変更後
1	特-06	石綿含有建材の調査なし	石綿含有建材の調査有り
2	特-06	石綿粉じん濃度測定を測定3を2点、測定6を2点、測定7を2点	石綿粉じん濃度測定を測定1と2を各2点追加とし、測定6を3点に変更、測定7を取り止め
3	特-06	石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去で除去工法を「環境配慮型の塗膜剥離剤を使用し、スクレーパー等により除去すること」	石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去で除去工法を「集塵装置付きグラインダーケレン工法」に変更。養生方法を「床、壁プラスチックシート養生を行うこと。」追記。
4			
5			
6			
7			
8			
9			

吸音材料	※図示による
・吸音材(吸音板) (DR)	・9 (不燃) ・12 (不燃)
・フック付	・12 (不燃) ・15 (不燃)
・凹凸材	
・吸音材(吸音材) (1号)	※図示による ・25
・吸音材(吸音材) (2号)	※図示による ・25 (5kg/㎡)
せっこうボード	※図示による ・9.5 (準不燃)
◎せっこうボード (GB-R)	◎12.5 (不燃) ・15 (不燃)
※鉛板は図示による	
・シグマせっこうボード (GB-S)	※図示による ・12.5 (不燃) ・準不燃
・強化せっこうボード (GB-F)	※図示による ・12.5 (不燃) ・15 (不燃)
・化粧せっこうボード (GB-D)	※図示による
・木目 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度	
・模様 (・柱目 ・板目) 専用下地材有り	
・トラバーチン模様 9.5 (準不燃)	
・せっこうボード (GB-L)	※図示による ・9.5
・不燃層せっこうボード (GB-NC)	※図示による
・化粧無し (下地張り用)	・9.5 (不燃)
・化粧有り (15mm厚)	

合板類	※図示による
・普通合板	
・表板の樹種名	
・板面品質	
・防虫処理	・行方 ・行わない
・天然化粧合板	※図示による
・化粧板の樹種名	
・防虫処理	・行方 ・行わない
・特殊加工化粧合板	※図示による
・化粧加工の方法	・ナドレイ ・プリント ・塗装
・表面性能	
・防虫処理	・行方 ・行わない

天井のボード(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
 ※図示による
 合板類の張付け
 ・A種 ・B種
 せっこうボードの目地工法等
 目地工法の種類
 ※図示による ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法
 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
 ・ペベルエッジ ・スクエアエッジ
 化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)

ホルムアルデヒド放散量	[6.14.2.3]
※F☆☆☆☆	
施工箇所	※図示による
紙	・不燃 ・準不燃 ・難燃
繊維	・不燃 ・準不燃 ・難燃
塩化ビニル	・不燃 ・準不燃 ・難燃
アラミ繊維	・不燃 ・準不燃 ・難燃
その他	・不燃 ・準不燃 ・難燃
防火性能	
備考	

モルタル及びせっこうプaster面の裏地ごしらえの種類
 ※B種 ・A種
 コンクリート面の裏地ごしらえの種類
 ※B種 ・A種
 せっこうボード面及びその他のボード面の裏地ごしらえの種類
 ※B種 ・A種

モルタル
 ・環境適合材料
 ・既設合板材料
 既設目地材
 ・設ける
 施工箇所 () 形状 (※図示による)
 ・設けない
 床の目地
 ・設ける
 目地割り
 ※2mm程度 (最大目地間隔3mm程度)
 目地の種類
 ※押し目地
 ・設けない
 壁面の仕上げ厚又は金張り厚が25mmを超える場合の下地処理
 ・図示による

タイル張り
 伸縮目地の位置
 床タイル
 ※縦、横とも4m以内ごと
 ・図示による
 床タイル以外
 ・図示による

伸縮目地自地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書3章による
 見本照し
 ・行方 (施工箇所) ・行わない
 試験張り
 ・行方 (範囲、仕様等は図示による) ・行わない
 ・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り
 タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法	再生材料	吸水率による区分	うわぐすり	設物	色	耐凍害性	耐凍害性	備考
(mm)	の適用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	Ⅳ類	Ⅴ類	Ⅵ類	Ⅶ類	Ⅷ類

標準的な曲がりの設物は一体成形とする
 ・既設合板モルタル
 モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
 ・既設合板目地材
 壁タイル張りの工法
 内装タイル
 ・密着張り
 ・改良圧着張り
 内装タイル以外のユニットタイル
 ・マスク張り ・モザイクタイル張り
 ・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り
 タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法	再生材料	吸水率による区分	うわぐすり	設物	色	耐凍害性	耐凍害性	備考
(mm)	の適用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	Ⅳ類	Ⅴ類	Ⅵ類	Ⅶ類	Ⅷ類

標準的な曲がりの設物は一体成形とする
 内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
 ※F☆☆☆☆

壁内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量
 ※F☆☆☆☆
 防火材料
 ※図内の変更、天井仕上げは防火材料とする。
 ・次の箇所を除き防火材料とする。(備考)

塗替え阻害の既設塗膜の除去範囲
 ※図内の変更、活膜部分は残す
 ◎図示による
 既存塗膜の剥離の有無調査
 ・行方 (箇所)
 ・行わない
 下地調整

素地面の種類	下地調整の種類	仕上げ部の種類
不透明塗料塗りの場合	※RB種	—
透明塗料塗りの場合	・RA種 ・RB種	—
鉄鋼面	※RB種	—
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種	—
モルタル面及びせっこうプaster面	※RB種	◎行方 ・行わない
コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	・RA種 ・RB種	・行方 ・行わない
押出成形セメント板面	・RC種	・行方 ・行わない
コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行方 ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※RB種	—

素地面等	種類
不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
透明塗料塗りの場合	※B種 ・A種
鉄鋼面 (DP以外)	※C種 ・A種 ・B種
鉄鋼面 (DP)	※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種
モルタル面及びせっこうプaster面	※B種 ・A種
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※B種 ・A種
押出成形セメント板面	※B種 ・A種
コンクリート面 (DPのみ)	※A種 ・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	※A種 ・B種
目地: 継目処理工法	※A種 ・B種
目地: 継目処理工法以外	※B種 ・A種

● 塗料の種類

◎ 塗装

塗料の種類	塗料の種類	塗料の種類	塗料の種類
SOP (工場の種別は表7.4.3)	塗替え ※A種	※C種	A種
EP-G (工場の種別は表7.4.3)	塗替え ※A種	※B種	A種
DP (工場の種別は表7.4.4)	塗替え ※A種	※B種	A種
SOP (工場の種別は表7.4.5)	塗替え ※A種	※C種	A種
EP-G (工場の種別は表7.4.5)	塗替え ※A種	※B種	A種
DP (工場の種別は表7.4.6)	塗替え ※A種	※B種	A種

塗料の種類	塗料の種類	塗料の種類	塗料の種類
・合成樹脂合板ポイント塗り (SOP)	※B種	※A種	※B種
・鉄鋼面	※B種	※B種	※B種
・クリヤラッカー塗り (CL)	※B種	※B種	※B種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD)	※B種	※A種	※B種
・耐熱性塗料 (DP)	※B種	※B種	※B種
・つや合成樹脂エマルジョンポイント塗り (EP)	※B種	※B種	※B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り (U)	※B種	※B種	※B種
・ステンレス塗り	※B種	※B種	※B種
・木材保護塗料 (WP)	※B種	※B種	※B種

つや合成樹脂エマルジョンポイント塗り (DP) 面、モルタル面、せっこうプaster面、せっこうボード面、その他 (DP) 面の塗替えの場合のしきり
 ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書7.9.1の工程1の下塗りしきりとする

合成樹脂エマルジョンポイント塗りの塗替えの場合のしきり
 ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書7.10.1の工程1の下塗りしきりとする

工種	規格番号	規格名称	種類	等級	塗付量 (kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	高反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
 ・適用しない
 ・適用する (着色剤: 溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)
 ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色剤の適用
 ・適用する
 ・適用しない
 オイルステイン塗りの工程等

改修特記仕様書 構造関係 による
 B章 耐震改修工事

9 環境配慮改修工事

◎ 石綿含有建材の調査

1章 石綿含有建材の調査による

材料名	定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	定量分析方法 (JIS A 1481-3) または (JIS A 1481-4)
◎ 図示	◎ 3箇所	◎ 箇所

◎ 石綿含有建材の除去工事

◎ 石綿含有建材の除去工事 [9.1.1, 3~6]

測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)
測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 2 点
測定 2	処理作業前	調査対象室外部の付近	計 2 点
測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 2 点
測定 4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	計 1 点
測定 5	処理作業中	黒じん・排気装置の排出口の位置 (処理作業室外の場合)	計 1 点
測定 6	処理作業中	◎ 施工区周辺	計 3 点
測定 7	処理作業後 (シート養生中)	◎ 処理作業室内	計 1 点
測定 8	処理作業後	処理作業室内	計 1 点
測定 9	処理作業後 (シート撤去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	計 1 点

測定方法
 ・自動測定器による測定
 測定名称 測定方法
 ・測定 4 粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
 ・測定 5
 ・測定 6
 ・測定 7
 ・測定 8
 ・測定 9

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
測定 4	25	5	30
測定 5	47	10	120
測定 6	47	10	240

石綿含有建材の処理
 ・石綿含有吹付け材の除去
 除去対象範囲
 ・図示による
 除去工法
 ※改修標準仕様書9.1.3 (2) (7) による
 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
 ※湿潤化 ・固形化
 除去した石綿含有吹付け材等の処分
 ・埋立処分 (管理型最終処分場)
 ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
 ・石綿含有保温材等 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種を含む) の除去
 除去対象範囲
 ・図示による
 除去工法
 ・破砕して除去 ・手ばらし
 除去した石綿含有保温材等の飛散防止
 ※湿潤化 ・固形化
 除去した石綿含有保温材等の処分
 ・埋立処分 (管理型最終処分場)
 ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
 ・石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種) の除去
 除去対象範囲
 ・図示による
 隔離養生 (真圧不要) 方法
 ・図示による
 反響
 図示による
 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
 ・埋立処分 (安定型最終処分場)
 ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
 ・石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外) の除去
 除去対象範囲
 ・図示による
 除去した石綿含有成形板の処分
 ・石綿含有せっこうボード
 ※埋立処分 (管理型最終処分場)
 ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
 ・埋立処分 (安定型最終処分場)
 ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
 ◎ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去
 除去対象範囲
 ◎ 図示による
 除去工法
 ◎ 高圧洗浄機をグラインダー・ケレン工法
 養生方法
 ◎ 仮設仕切りを設置の上、四週目張り内外に行うこと。
 ◎ 床、壁プラスチックシート養生を行うこと。
 除去した石綿含有仕上塗材の処分
 ◎ 埋立処分 (安定型最終処分場)
 ・埋立処分 (管理型最終処分場)
 ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
 石綿含有塗材除去後の仕上工事
 ◎ 図示による

改修特記仕様書3章による。 [9.2.2~3]